



Link People  
for Happiness

第32期

株主通信

平成25年4月1日～平成26年3月31日



トータル・ソリューション・サービス

企画・提案

設計

開発・構築

導入

教育

ヘルプデスク

運用・保守

# 企画から保守までのトータル・ソリューション・サービスを提供しています。

## ソリューションデザイン事業

### サービスソリューション事業

スマホアプリやWebアプリの開発は勿論のこと、スマートデバイスを利用したネットビジネスの企画から設計・開発・運用までを一貫してサポートしています。

### クオリティデザイン事業

スマホアプリやWebアプリの性能評価・品質検証、サービスプロバイダー向けのサーバー監視・運用サービスを行っています。

主要顧客：通信キャリア、通信機器メーカー、インターネットビジネス企業

### 金融・基盤システム事業

金融機関向けの基幹・周辺システムの開発およびアプリケーションプラットフォームの設計・構築を行っています。

主要顧客：損保、生保、銀行

### ITサービス事業

システムやネットワークの運用・保守・監視、ヘルプデスク、データ入力、大量出力など、ITに関する様々なアウトソーシングサービスを行っています。

主要顧客：電機メーカー、外資系企業、官公庁

### ソリューション営業

サーバー、パソコン、周辺機器、ソフトウェアなどのIT関連商品を企業向けに販売しています。また、基盤構築、仮想化など、IT機器に関連した最新のサービスを提供しています。

主要顧客：電機メーカー、外資系企業

### クラウド事業

「Google Apps」、 「Microsoft Office 365」などのクラウド型サービスの提供や導入支援を行っています。また、独自サービス「cloudstep」を展開しています。

主要顧客：一般事業法人  
(中堅から大企業まで)

### コンシューマサービス事業

グループ会社の株式会社GaYaが主体の事業で、スマートフォン向けソーシャルゲームの企画・開発・提供を行っています。

主要顧客：SNSサイト運営会社、一般個人

### 海外事業

成長著しいASEAN諸国やIT先進国の北米において、モバイルデータ通信を使った各種ソリューションを提供しています。

主要顧客：日系企業、タイ企業、通信キャリア、通信機器メーカー

# 「日本を代表するIT企業となり、日本経済を底辺から支える」、



代表取締役社長  
逸見 愛親

当社は今期で会社設立32年目を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様の日頃のご支援、ご鞭撻の賜物と厚く御礼申し上げます。

当社グループは、経営目標実現のために、『破壊と創造』、『安定と成長』、『保守と革新』、これら相反する課題をバランス良くコントロールし、常に振り子の中心点に経営の軸足を置いた、バランス経営を基本方針としております。

安定した高配当、高い株主資本利益率と売上高営業利益率を目標として、その達成のために、安定と成長のバランスを重視した経営の基本方針に則り、高収益体質を目指してまいります。

現在、当社グループの主力事業は8つのカテゴリーに分かれます。

1つ目は、サーバーシステムからパソコンやモバイル機器、更には各種ストレージ機器を、どこよりも早くリーズナブルな価格でご提供するとともに、単なる物販屋ではなく、技術力を武器にしたサービスでお客様の商売繁盛をご支援するソリューション営業。

2つ目は、情報機器を駆使しなければ、今やビジネスが成り立たなくなったオフィスで、各種オペレーション業務やユーザーサポート業務、さらにはお客様のIT機器の資産管理を請け負うオフィスワークコンシェルジュサービスをご提供するITサービス事業。

3つ目は、スマホアプリやWebアプリの性能評価・品質検証、サービスプロバイダー向けのサーバー監視・運用サービスを行うクオリティデザイン事業。

4つ目は、スマホアプリやWebアプリの開発は勿論のこと、スマートデバイスを利用したネットビジネスの企画から設計・開発・運用までを一貫してサポートするサービスソリューション事業。

5つ目は、基幹系から情報系まで幅広く金融業務の支援を行い、各種金融システムの開発支援および保守運用と、システムの心臓部であるサーバー群のシステム構築運用を手掛ける金融・基盤システム事業。

## これがシステナグループの経営目標です。

6つ目は、クラウド型情報システムの提供・導入支援、および独自サービス「cloudstep」にてお客様の各種業務の効率化とコストダウンをご提案するクラウド事業。

7つ目は、スマートフォンやタブレットPCをターゲット機器とした、ゲームコンテンツの企画・開発・販売を行うコンシューマサービス事業。

8つ目は、成長著しいASEAN諸国やIT先進国の北米にて、モバイルデータ通信を使った各種ソリューションビジネスを展開する海外事業であります。

これら8つの事業を推進するにあたって、私たちが大切に思っていることがあります。

私たちは、物を売るだけの営業ではなく、単純なマニュアル業務だけを行うオペレーターではなく、ただ作るだけの技術者であってはならないと考えています。

営業は、お客様のご要望に迅速にお応えするために、自分自身と組織体を鍛え抜き、オペレーター・ヘルプデスク要員や管理部門スタッフは、おもてなしの心を育て、共に働く人々の笑顔を作り、技術者は、最適な品質とコストパフォーマンスに優れたもの作りのための技を磨くことで、お客様の商売が繁盛するお手伝いをさせていただく。

お客様の商売繁盛とITを駆使した社会インフラの整備をお手伝いさせていただくことで、結果的に日本経済発展のために貢献したい。これが私たちの経営理念に基づく「仕事観」です。

「私がガンバレば、ハッピーになる人がきつといる。」このスローガンのもとに、更なる飛躍を目指してまいります。

上記経営方針のもと、当社グループは、新たな成長エンジンの再構築を行い、これにより3年後の営業利益を第32期対比で2倍にすべく、取り組んでまいります。

具体的な経営戦略は、ハードからソフトへの質の転換だと考えております。

今までは、携帯電話・スマートフォンの開発や評価がメイン事業であり、パソコンやサーバーの販売と、金融システム等の基幹システムの構築が主な業務でありましたが、今後は、スマートフォンを利用したサービスの検証や、サービスそのものを作り出すビジネス支援が新たな市場と考えます。

また、今後は、ネットビジネスへの展開を加速させる顧客を中心に、伸び盛りの新興企業や中堅企業への営業展開も積極的に行い、大口顧客からの発注量で業績が左右される体質から、中堅顧客層の厚みが増した、安定した経営体質へと変革してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

平成26年6月

# 当期 (平成26年3月期) の連結業績概要

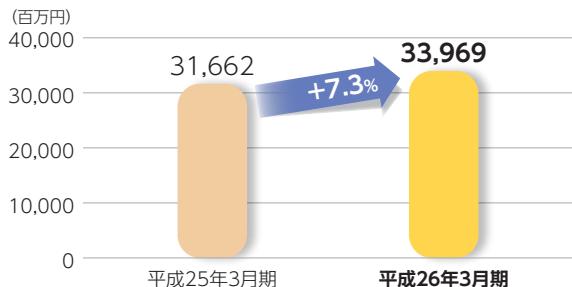
当期を積極的な投資の期と位置付け、人材および新商材・新サービス開発への積極投資を強力に推進しました。また、組込み系システム開発・評価を中心とした事業の受注体制をスマートフォン・Webアプリの開発・評価やサーバーの基盤構築を主体とした受注体制へシフトすべく、構造改革と営業強化に取り組みました。

## 業績概況

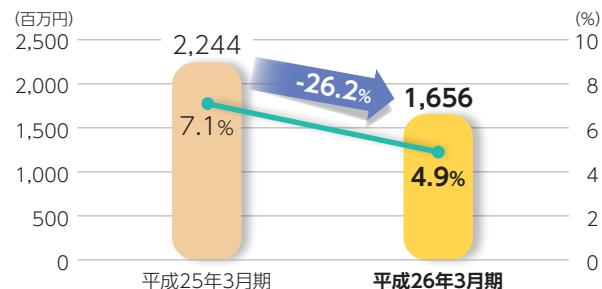
### 売上高・営業利益・経常利益・当期純利益

PC・サーバー等の販売が好調に推移し、前期比で増収となりましたが、新プラットフォームTizenへの研究開発投資、地方の開発拠点拡充、自動車関連市場への参入、クラウド関連市場向け自社商材開発、SNSゲーム市場への新コンテンツ投入、海外への進出等の先行投資を強力に推進した結果、減益となりました。

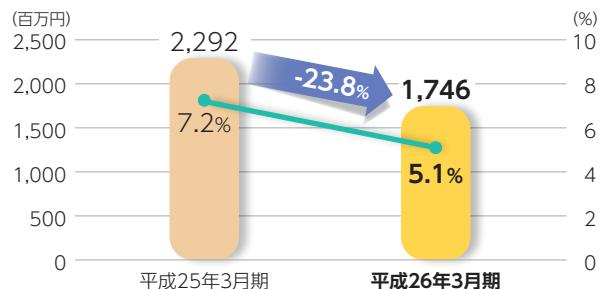
#### ● 売上高



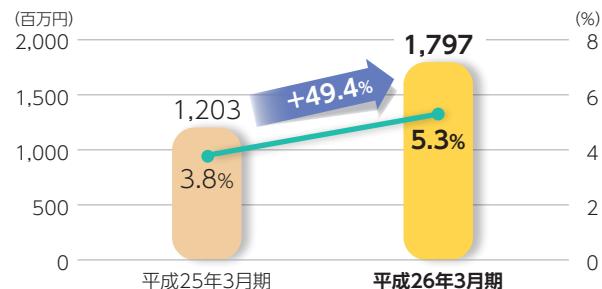
#### ● 営業利益(率)



#### ● 経常利益(率)



#### ● 当期純利益(率)



## 各事業の概況

### ソリューションデザイン

- ・プロダクトソリューション
- ・サービスソリューション

複数の国内端末メーカーによるスマートフォン事業撤退の影響を大きく受ける中、端末開発への依存度を引き下げるべく、全体の60%を占めていた携帯端末開発・品質評価業務を、期末の時点で20%まで縮小し、旺盛な需要が見込めるiOS・Androidのネイティブアプリ開発と品質検証案件の開拓を推進しています。

### 金融・基盤システム

金融システム事業においては、適材適所の要員配属、受注案件の選択と集中を進め、赤字プロジェクトの撲滅とプロジェクト管理を強化しました。また、営業強化により、保険系大型案件の保守業務が当社に集約され業務範囲が拡大しました。基盤システム事業においては、他部門と連携した提案活動により、機器調達からアプリケーション基盤構築、開発までの一貫した受注体制が整い、大型案件の受注実績が出ています。

### ITサービス

ソリューション営業本部の豊富な顧客に対する運用・保守、ヘルプデスク・ユーザーサポート等のITサービス全般の提案活動が実を結び、新たな需要の発掘と取引拡大につながりました。当事業は、当社の各事業の連携の要となり、英語力やマネジメント力の強化により付加価値を高めることによって、競争力の強化を図っています。

### ソリューション営業

Windows XPのサポート終了に伴うリプレース、デスクトップ仮想化への移行、サーバーの統合・仮想化・バックアップと同時に運用を含めたサービスを付加することにより、サービス売上が増加しました。また、開発部門との連携が進み、機器販売からインフラ構築、システム開発、保守運用に至るワンストップサービスが増大、消費増税前の旺盛な駆け込み需要もあり、売上が増加しました。

### クラウド

主力取扱商品「Google Apps」と組み合わせて提供する「cloudstep」シリーズの拡充が奏功し引き合いが拡大しました。特にグループウェアの刷新を目的に「Google Apps」を検討する企業が増える中、新サービス投入が競合他社との差別化に一層拍車をかけ、複数の大型案件の獲得とともに既存契約の更新も順調に進みました。

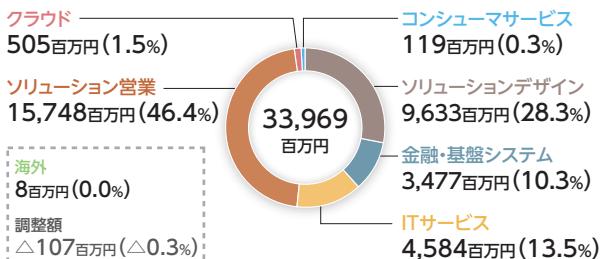
### コンシューマサービス

当期は6タイトルの新コンテンツをリリースする計画に対し、釣りゲームや育成ゲームなど5タイトルのリリースにとどまり、収益が伸び悩みました。このうち、2タイトルを顧客ニーズに合わせてバージョンアップし再投入したほか、3タイトルを複数プラットフォームへ展開し、テコ入れを図っています。

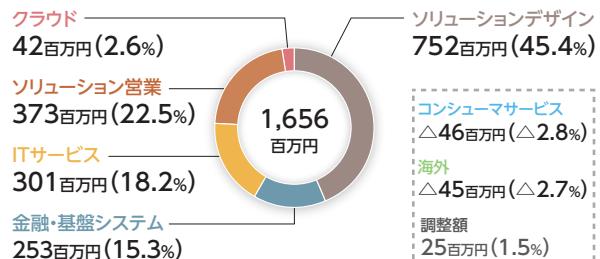
### 海外

タイ現地法人の設立に続いて、米国カリフォルニア州に現地法人を設立しました。国内大手通信キャリアの米国通信キャリア買収に伴う技術支援と日本企業の米国市場進出に伴う開発・検証支援を目的に、本年1月から営業を開始しています。

### ●セグメント別売上高(構成比)



### ●セグメント別営業利益(構成比)



# 次期(平成27年3月期)の見通し

## セグメント別の見通しと施策

### ●ソリューションデザイン事業

端末開発ビジネスへの依存度を下げ、市場拡大が続くスマートデバイスを利用したネットビジネス分野や自動車関連分野へのシフトを進めます。このため、期の初めに、プロダクトソリューション事業とサービスソリューション事業を融合し、サービスソリューション事業とクオリティデザイン事業に改編しました。

### ■サービスソリューション事業

(プロダクトソリューション事業の開発事業を統合)

スマートデバイスと高速無線通信の急速な普及を追い風に、企業向け・消費者向けスマートデバイスソリューションおよびネットビジネスの分野からの受注が大きく伸長するものと見込んでいます。

また、強化された開発体制のもと、iOS、Android、サーバー開発といったネットビジネス分野で培ったノウハウを活かし、通信事業者や自動車関連企業へ積極展開し、受注拡大を目指します。

加えて、スマートフォン向け不正送金・フィッシング詐欺対策アプリ「Web Shelter」の拡販に努めます。

### ■クオリティデザイン事業

(プロダクトソリューション事業とサービスソリューション事業の非開発事業を統合)

強化された企画・仕様策定等の上流工程や品質検証業務の体制のもと、スマートデバイスやWebサービスの分野で培った豊富なノウハウと実績を活かし、今後需要の拡大が見込まれるネットワーク系やサーバー

系への展開を積極的に進めます。

これら受注増への対応として、新設するベトナム子会社や現地パートナー企業を通じて、100名規模のベトナム人技術者を獲得し、供給力の拡充を図ります。

### ●金融・基盤システム事業

選択と集中を実施し、強い体制づくりに取り組んだ結果、前期までの不採算案件は一掃され、着実な拡大基調にあります。

市場環境としても大手銀行を中心に設備投資意欲の改善が続き、既存のお客様は勿論のこと、新規取引先の開拓も進み、案件は着実に増えてきています。

しかしながら人手不足の状態が続いていることから、ビジネスパートナーとの強い連携やニアショアの活用を推進し、リソースの確保を図ります。

### ●ITサービス事業

抑制されてきた企業のIT投資が活発になりつつあることと、Windows XPのサポート終了に伴う買い替えにて発生する、キッティングやインストールサポート等のスポット案件が急増しています。また、様々な業界で増加する企業統合や事業再編に伴うシステムの再構築により、ヘルプデスク等のITアウトソーシング需要の増加も見込まれます。

このような状況の中で当事業は、他部門との連携を強化し、引き続き“1クライアント複数サービスの提案”を合言葉に、「ALLシステナ体制」による一貫したサービスを提案し、顧客の事業推進をサポートすることにより、さらなる事業の拡大と収益性の向上を図ります。

また、「人」によるサービスを行う当事業においては、何より優秀な人材を確保し育成することが事業発展の基礎となるため、将来を見越した若手社員の採用・教育に力を入れるとともに、既存社員のスキルアップ教育も積極的に推進します。

## ●ソリューション営業

消費増税などのリスクはあるものの、顧客のIT投資は慎重さを伴いながらも、生産性向上・コスト削減、そしてセキュリティをキーワードに、システムの刷新、クラウド・モバイル端末の活用といった新たな投資が見込まれます。

こうした顧客の課題解決のために、取扱商品とIT基盤構築を中心としたソリューションメニューの拡充を図り、そこに当社グループの持つ全てのサービスを絡めた総合営業を推進することで、付加価値ビジネスの創造と拡大を行い、収益性の向上を図ります。

## ●クラウド事業

クラウドに移行しやすいと言われるグループウェアのリプレース案件での「Google Apps」や「Microsoft Office 365」の引き合い増加を見込んでいます。

そこでグループウェアに求められる主要機能を新規に開発し、当社独自サービス「cloudstep」のラインナップに加えることにより競合他社とのさらなる差別化を進め、「Google Apps」、「Microsoft Office 365」+「cloudstep」の組み合わせで収益力の向上を目指します。

## ●コンシューマサービス事業

株式会社GaYaは、大手SNSサイト向けのゲームコンテンツを、逐次リリースします。

前期5タイトルをリリースし、月次において採算分岐点を超えています。さらなる大ヒットを目指して、今期から、成長著しいiPhone、Androidマーケット向けの、ネイティブアプリの企画・開発・販売を進めます。

## ●海外事業

引き続きタイの日系企業向けを中心に、業務アプリケーションの提案販売、サーバーの再構築および「監視カメラ」サービスを展開し、顧客基盤の確立を進めます。

また、スマートフォンに特化したモバイルアプリサービスとして、新たにサービスを開始したバンコク初のモバイルアプリ専用グルメサイト「Bangkok Gourmet Site (通称バングル)」の収益化に注力します。

米国子会社は、日本の通信キャリアの米国進出の本格化に伴う技術支援と、それに伴う日本企業の米国市場向けの開発・検証支援を確立していきます。

## ■業績予想 (連結)

(単位:百万円)

	平成26年3月期		平成27年3月期		増減率
	実績	利益率	業績予想	利益率	
売上高	33,969	—	35,000	—	3.0%
営業利益	1,656	4.9%	2,200	6.3%	32.9%
経常利益	1,746	5.1%	2,217	6.3%	27.0%
当期純利益	1,797	5.3%	1,369	3.9%	△23.8%

# 財務諸表 (連結)

## 連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

	当期末 平成26年3月31日現在	前期末 平成25年3月31日現在
<b>流動資産合計</b>	<b>15,207</b>	13,416
現金及び預金	5,235	4,025
受取手形及び売掛金	8,465	7,580
繰延税金資産	705	1,050
その他	800	759
<b>固定資産合計</b>	<b>5,047</b>	6,589
有形固定資産 ①	389	2,733
無形固定資産	311	621
投資その他の資産	4,346	3,233
<b>資産合計</b>	<b>20,255</b>	20,005

	当期末 平成26年3月31日現在	前期末 平成25年3月31日現在
<b>負債合計</b>	<b>7,115</b>	7,156
流動負債	7,025	6,904
固定負債	90	251
<b>純資産合計</b>	<b>13,139</b>	12,848
<b>株主資本</b>	<b>12,824</b>	12,515
資本金	1,513	1,513
資本剰余金	5,397	5,397
利益剰余金	7,721	6,708
自己株式 ②	△1,807	△1,104
その他の包括利益 累計額	23	17
少数株主持分	291	316
<b>負債純資産合計</b>	<b>20,255</b>	20,005

### 財務諸表に関するトピックス

- ① 有形固定資産は、土地1,240百万円の減少、建物1,131百万円の減少などにより、前期末と比較して2,344百万円減少しました。
- ② 株主の皆様への一層の利益還元と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため、自己株式を取得しました。

取得期間	取得した株式数	取得価額
平成25年 5月10日～平成25年 9月30日	726,300株	536百万円
平成25年11月 1日～平成26年 3月31日	224,800株	166百万円
合計	951,100株	703百万円

## 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	当期	前期
	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高	33,969	31,662
売上原価	27,970	25,577
売上総利益	5,999	6,085
販売費及び一般管理費	4,342	3,840
営業利益	1,656	2,244
経常利益	1,746	2,292
当期純利益	1,797	1,203

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

	当期	前期
	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,490	2,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,336	△626
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,578	△2,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	18
現金及び現金同等物の増減額	1,263	△414
現金及び現金同等物の期首残高	3,872	4,287
現金及び現金同等物の期末残高	5,135	3,872

## 配当について

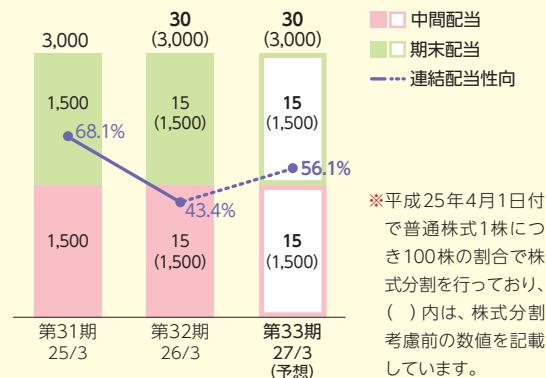
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、安定的で継続性のある配当に配慮し、業績に応じて行うことを基本方針としています。

具体的には、各期の経営成績の状況等を勘案して、配当性向40%を目標に、株主の皆様への利益還元策を積極的に行ってまいります。

上記の方針のもと、当期の期末配当につきましては、1株当たり15円とさせていただきます。

次期の配当金につきましては、1株当たり年間30円(中間配当15円、期末配当15円)を予定しています。

## 1株当たり配当金の推移(単位:円)





## 最新技術と安心・安全な未来

システナが今、力を入れている自社商材の中から、次世代モバイルOSであるFirefox OS搭載のタブレット端末とスマートフォン向けセキュリティソリューションWeb Shelter®をご紹介します。

### 次世代モバイルOSであるFirefox OS搭載のタブレット端末を開発

Webアプリケーションのエコシステムに革新の波を！

# Firefox OS

システナはオープンなWeb標準技術に基づくアプリケーションプラットフォームに賛同を表明しています。

アプリケーションの配信はマーケットプレイスを利用する方法の他に、自ら用意しているWebサイトを利用して配布することも可能なため、サービス提供に対する障壁も低く抑えられています。

今後、Firefox OSに対応したWebアプリケーションの拡充や開発者の支援などを進めていきます。



ARM®  
Cortex®-A9搭載

#### ▼タブレット端末 基本スペック

メインディスプレイ	10.1インチ 1920×1200 (WUXGA)	メモリ	RAM 2GB DDR3 ROM 32GB
CPU	ARM® Cortex®-A9 1.4GHz Quad Core	カメラ機能	フロント 30万画素 バック 200万画素
GPU	ARM® Mali™-400	Bluetooth	Ver.3.0+HS
無線LAN	IEEE 802.11 b/g/n	外部メモリ	microSD

Firefox® OSはMozilla Foundationの商標または登録商標です。

## セキュリティソリューション Web Shelter®

スマートフォンが急速に普及し、スマートフォン端末からの電子商取引やオンラインバンキングなどのサービス環境も急速に整いつつあります。その一方で、フィッシング詐欺や個人情報の抜き取りなどのセキュリティ脅威に対する対策は、個々のユーザによる注意や

セキュリティ対策ソフトの導入に依存しています。独自のセキュリティ環境を用意することで、金融機関やECサイト運営事業者のスマートフォンユーザ様へ安心・安全なオンラインバンキングをご提供します。

※導入事例 東京スター銀行

# 「Web Shelter® for Automotive」

車載機にシステナのWeb Shelter®を搭載した車載向けセキュリティソリューションをご紹介します。カーナビやAV機器等において近年Android®や組み込みLinux®等のオープンプラットフォームの採用が進んできています。このことから、一般的なIT機器(PCやスマートフォン等)と同様の脅威、脆弱性が存在する可能性が十分に考えられます。システナは、全ての脅威、脆弱性に対応し、セキュアなカーライフを実現できるソリューションをご提供します。



クラッキング行為



不正アプリ  
不正コンテンツ

ユーザが安心して利用できる車載機をご提供します

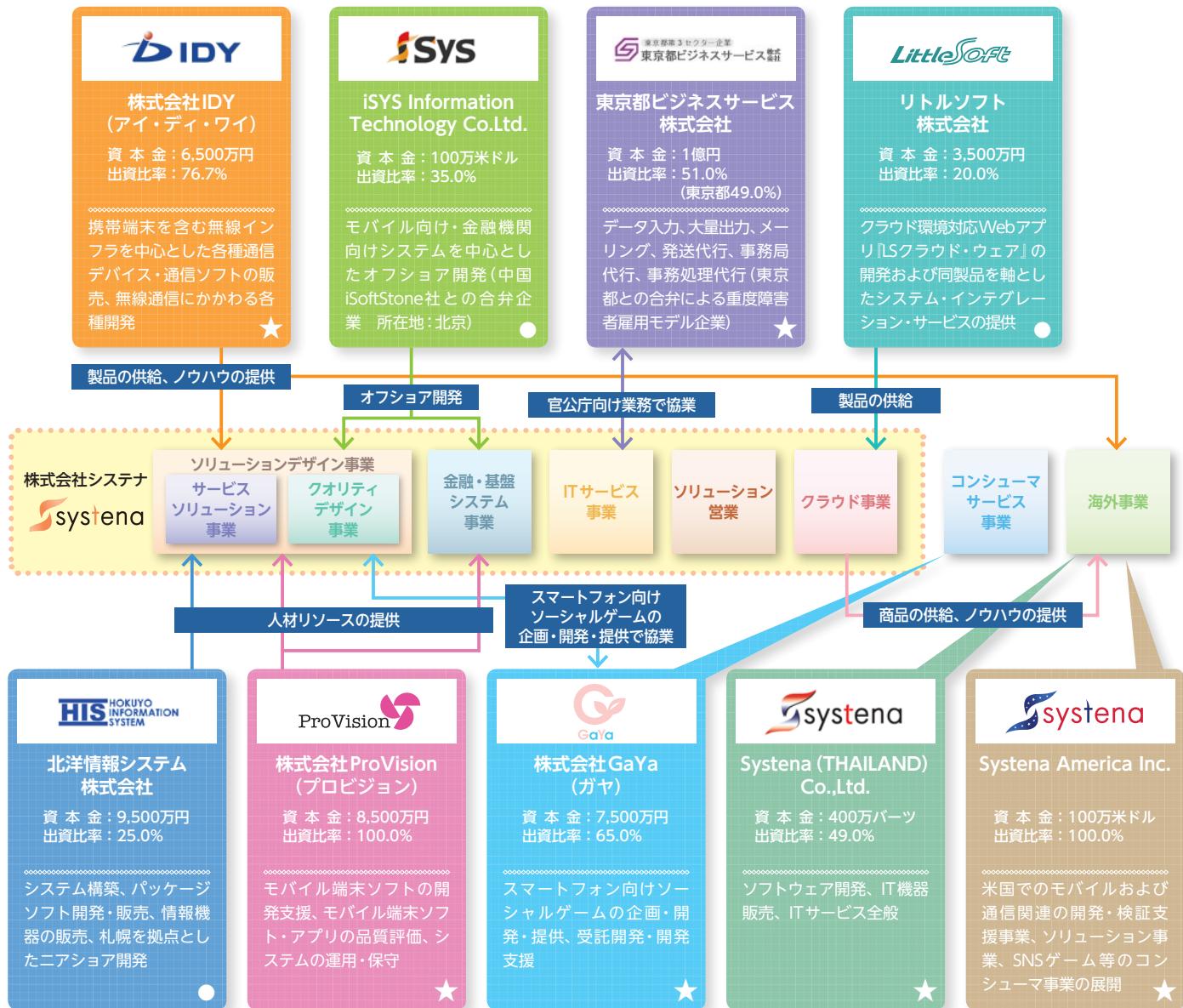
### 「第4回 スマートフォン&モバイルEXPO [春]」への出展

平成26年5月14日から16日までの3日間、東京ビッグサイトで開催された「第4回 スマートフォン&モバイルEXPO [春]」に出展しました。スマートデバイスを利用したエンタープライズ製品を中心に、様々なソリューションを展示するとともに、ブース内でデモンストレーションを行い、多数の来場者の方に最先端の技術をご覧いただきました。



# グループ会社概要 (平成26年4月1日現在)

グループ会社との連携による総合力の強化により、事業の拡大を図っています。



★印は連結子会社、●印は持分法適用関連会社

## 会社概要 (平成26年4月1日現在)

社名	株式会社システナ
設立	1983 (昭和58) 年3月
資本金	15億1,375万円
従業員数	単体: 1,628名 連結: 2,173名
加盟団体	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC) 日本スマートフォンセキュリティ協会 (JSSEC) ユビキタスネット社会推進協議会 Oracle Partner Network 日本コンピュータシステム販売店協会 (JCSSA) itSMF Japan 無線LANビジネス推進連絡会 新世代M2Mコンソーシアム 日本情報技術取引所 (JIET) Tizen Association Partner Program

## 役員 (平成26年6月25日現在)

代表取締役社長	逸見 愛親
代表取締役副社長	三浦 賢治
専務取締役	淵之上 勝弘
常務取締役	甲斐 隆文
取締役	国分 靖哲
取締役	杉山 一
取締役 (社外)	鈴木 行生
取締役 (社外)	小河 耕一
常勤監査役 (社外)	菱田 亨
監査役 (社外)	佐藤 正男
監査役 (社外)	中村 嘉宏

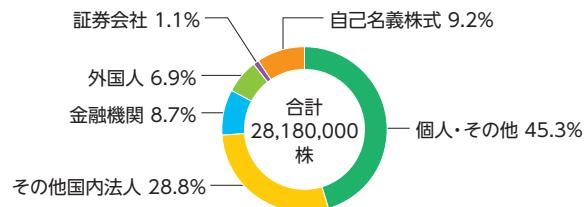
## 株式の状況 (平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数	92,400,000株
発行済株式の総数	28,180,000株
株主数	9,971名

## 大株主 (上位10名) (平成26年3月31日現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
SMSホールディングス有限会社	7,141,200	25.34
株式会社システナ (自己株式)	2,586,200	9.17
システナ社員持株会	1,087,400	3.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	482,400	1.71
ガヤ・アセットマネージャー有限会社	434,000	1.54
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	390,300	1.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	354,100	1.25
国分 靖哲	307,800	1.09
三浦 賢治	282,000	1.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口6)	200,700	0.71

## 所有者別株式分布状況 (平成26年3月31日現在)



ホームページのご案内

<http://www.systema.co.jp/>

詳細なIR情報をはじめ、サービスのご案内、コンプライアンスへの取り組みなど最新の情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日
	なお、その他必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。	
単元株式数	100株	
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
電話照会先	TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル)	
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部	
証券コード	2317	
公告方法	電子公告により、当社ホームページ ( <a href="http://www.systema.co.jp/">http://www.systema.co.jp/</a> ) に掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	

### 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いのお申出先について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

TEL: 0120-782-031 受付時間 平日 9:00~17:00

### 「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

## 株式会社システナ

本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング14F TEL: 03-6367-3840 (代表) FAX: 03-3578-3012 (代表)
横浜事業所	〒220-8123 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 横浜ランドマークタワー23F TEL: 045-640-1401 FAX: 045-640-1461
大阪支社	〒530-0013 大阪市北区茶屋町19番19号 アプローズタワー18F TEL: 06-6376-3537 FAX: 06-6359-7012
名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目2番7号 名古屋東宝ビル4F TEL: 052-209-5460 FAX: 052-209-5463
札幌開発センター	〒060-0003 札幌市中央区北三条西三丁目1番地6 札幌小暮ビル5F TEL: 011-208-1012 FAX: 011-208-1015
西日本開発センター	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前二丁目17番8号 安田第4ビル4F TEL: 092-477-7401 FAX: 092-477-7403
西日本開発センター 広島分室	〒739-0015 広島県東広島市西条栄町10番30号 東広島Sea Place 504号室 TEL: 082-495-1100



この印刷物は、FSC® 森林認証取得用紙と植物油インキを使用して印刷されています。



この印刷物は、E3PAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています  
E3PA: 環境保護印刷推進協議会  
<http://www.e3pa.com>



この印刷物は、風力で発電されたグリーン電力にて刷版を出力、印刷されています。

※当印刷物の刷版出力に必要な電力量を0.9kWh、11,500部を印刷するのに必要な電力量を175kWhと計算しています